

# Special Interview

スペシャルインタビュー

創業から46年を迎えるオーゼット。その歴史はリアルな研究開発の場でもあるモータースポーツとともにある。そんなオーゼットの社長、クラウディオ・ベルノーニ氏にお話を伺った。

## モータースポーツでの実績に 真つけされた機能美が特長

1971年、イタリア北部にあるロツサーノ・ヴェネスト市にあるガソリンスタンドで、ふたりの若者が働いていた。シルバノ・オゼツラドレーとピエトロ・ゼンというこのふたりは、モータースポーツが好きで、とくに当時ラリーで活躍していたミニの戦闘力アップを考えていた。そこから生まれたのが軽量で高剛性なスポーツホイールであり、これがオーゼットが誕生

するきっかけとなった出来事だ。その後、オーゼットはさまざまなモータースポーツに進出する。1984年には現社長であるクラウディオ・ベルノーニ氏が指揮するレース部門、OZレーシングを設立し、F1用ホイールの開発、生産を開始している。現在ではレーシングマシン用ホイールはもちろん、世界中の自動車メーカーから委託された純正ホイールの生産などを行う、有数のホイールメーカーとなったオーゼット。その情熱の根源について、さっそく話を伺ってみたい。



クラウディオ・ベルノーニ

Claudio Bernoni  
O·Z S.p.A.





ト走行からアウトドアユースまで、さまざまなシチュエーションでお使いいただけます。このようにユーザーの方々が求められているものを考慮したアイテムをラインアップしているのがオーゼットのベースです」

編：「そのベースにあるのは、機能性の高さなんです」

ベルノニ：「そうですね。我々は常に新しいテクノロジーに挑戦し続けています。ホイールの設計にコンピュータを使用し、3D・CADを取り入れたのはずいぶん前のことで、それによって強さだけではないしなやかさも含めたホイール剛性の適正化は世界トップクラスのものがあります。製造においても研究を怠らず、進歩を続けています。それに寄与しているのがモータースポーツ用ホイールです。自分自身がそういう分野の仕事を続けてきた、ということもありますが、モータースポーツで求められる極限の機能性の追求という課題は、いまの限界を超えていくときにもかならず必要となるものです。それを創業当時からひたすらに続けてきたことが、オーゼットの社風、といったものとなっています。言い換えるとオーゼットは、そうとは感じさせないようにしながらも、じつは最先端の機能性を持ったブランドだということですね」

編：「そういえばネオクラシック的な新製品の噂を小耳に挟みました」



# ITALIAN RACING TECHNOLOGY

## O-Z wheels

Japanese Branch  
O-Z Japan LTD.  
〒430-0807 静岡県浜松市中区佐藤2-35-20  
TEL:053-469-5011 E-mail:info@oz-japan.com  
Official web site: http://oz-japan.com

機能の高さとともに美しさも表現するのがOZのホイール

編集部（以下、編）：「本日はお忙しいところお時間をいただきありがとうございます。早速ですが、オーゼットがホイールを開発するときに大事にしていること、つまりはコンセプトについてお聞かせいただけますか？」

ベルノニ氏（以下敬称略）：「すでにご存知かもしれませんが、オーゼットはモータースポーツシーンから生まれたブランドです。最初はラリーで活躍しているミニ・クーパー用のホイールを開発し、結果を残しています。このことからわかるように我々は、どのようなアイテムであっても常に機能を重視しています。しかし現代のクルマにおけるホイールの役割というのは、機能一辺倒ではありません。ホイールというのはクルマの中でデザインの一部という役割もあります。そのためいかに機能性に優れていても、美しさを持っていないならばならない、とも考えています。とくに自動車メーカー純正ホイールの場合には、この部分が重要ですね。一方でアフターパーツ市場におけるホイールは、他社製品とは違う独自性というものも求められます。ですので我々は、機能の高さをベースとしながらも美しさと独自性を高い次元でバランスさせていくことを考えてホイールを開発しているのです」

編：「オーゼットのホイールにはモノブロックのスポークやプレミアムパフォーマンス・スタイルと銘打っているアトリエ・フオージッド。比較的買

## 巧みなデザインとレーシングテクノロジーの融合

やすい価格設定となっているXライン。さらにはレーシングテクノロジーを謳っているITECHといったシリーズ設定がありますが、これらはずまり、それぞれの方向性をはっきりさせることで、単純に機能や美しさを融合させるだけではなく、独自性を打ち出している、ということでしょうか」

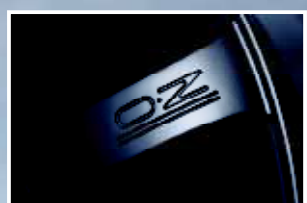
ベルノニ：「その通りです。たとえばハイパフォーマンスなクルマに乗っ



初期のオーゼットは小さなホイール工房だったが、現在では近代的なオフィスと大規模な生産設備を持つ、自動車メーカーの純正ホイールの生産もおこなっている大企業へと成長した。ここからレーシングマシン用ホイールやアフター市場向けホイールが送り出されている。



高さを感じていただけです。またSU Vに乗っているのでしたら、オーゼットにはオールテレンという、ラフロードに求められる強靭さと美しさを合わせ持ったシリーズもありますので、こちらを装着していただくとストーリー



**ラリーレーシング復活近し!!**

インタビュー中にも出てきた新製品の写真を入手したのでここでお見せしたい。その新製品とはグラベルやスノーで圧倒的な力を見せた、ラリーレーシングをベースとしたもの。たしかにミニにピッタリなスタイルだ。



ベルノニ：「素晴らしい情報収集力ですね（笑）。オーゼットがラリーシーンで勝利を重ねたホイールであるラリー・レーシングというモデルがあったのですが、そのイメージを現代風にアレンジした新製品を現在開発しています。近日常にみなさんにお見せできると思います。現在自動車のトレンドは機能は最新、スタイルはネオクラシックと、いうところにあるのですが、この新製品もルックスは懐かしい感じを残しながら、最新のテクノロジーを活かしたものとなっています。とくにミニのオーナーの方々にとってこのホイールは、まさしくこれだ、と言っていただけのもとなるはずですよ。期待していただければ幸いです」